



令和6年度 秋田県消防功労者表彰式



題 字
初代会長 松野 盛 吉
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 高橋 正 尚
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail: ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubairainsatsu.co.jp>



消防庁長官表彰

令和6年度秋田県消防功労者表彰式が秋田県及び秋田県消防協会の主催により、3月25日(火)に秋田県庁正庁で開催され、受賞者など約150人が出席しました。
式典では、消防庁長官表彰、秋田県知事表彰、日本消防協会定例表彰が伝達され、最後に受賞者を代表して倉田芳浩秋田市消防団長が謝辞を述べました。
皆様、誠にありがとうございます。



倉田団長代表謝辞



日本消防協会長表彰

2025年度全国統一防火標語
急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし



本県からは、表彰旗1団、竿頭綬3団、功績章、精績章、勤続章合わせて371人が受賞し、3月25日(火)の令和6年度秋田県消防功労者表彰式で伝達されました。
特別表彰「まとい」など各賞の授与が行われました。

第77回 日本消防協会
定例表彰式

3月7日(金)ニッシーホール(東京都港区)において、第77回日本消防協会定例表彰式が行われ、受賞者や消防関係者約400名が出席して、

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (4 名)

能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 正 監	泉 政 樹	鹿角広域行政組合消防本部	消防司令長	奈 良 巧 一
東成瀬村消防団	団 長	鈴 木 修	上小阿仁村消防団	団 長	武 石 聡

◆永年勤続功労章 (70 名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	鈴 木 和 仁	秋田市消防本部	消 防 監	堀 井 正 人
由利本荘市消防本部	消防司令長	伊 藤 一 寿	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	伊 藤 広 幸
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	小 松 文 博	横手市消防本部	消防司令長	佐々木 馨
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	佐 藤 克 則	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	進 藤 政 喜
秋田市消防本部	消防司令長	杉 館 涉	にかほ市消防本部	消防司令長	須 田 勇 喜
大館市消防本部	消防司令長	相 馬 成 人	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	武 田 英 俊
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	藤 田 信 義	秋田市消防本部	消防司令長	武 藤 学
鹿角広域行政組合消防本部	消 防 司 令	小笠原 稔	五城目町消防本部	消 防 司 令	松 橋 正 浩
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消防司令補	山 谷 康 博	北秋田市消防本部	消 防 士 長	木 村 喜 春
秋田市消防団	団 長	倉 田 芳 浩	秋田市消防団	副 団 長	大 山 司
大仙市消防団	副 団 長	小 原 勝	小坂町消防団	副 団 長	亀 田 晃
秋田市消防団	副 団 長	佐々木 徹	大仙市消防団	副 団 長	鈴 木 久 男
八峰町消防団	副 団 長	鈴 木 英 実	大仙市消防団	副 団 長	新 山 芳 美
大仙市消防団	副 団 長	藤 谷 賢 司	仙北市消防団	副 団 長	本 田 清 治
秋田市消防団	副 団 長	三 浦 浩 一	男鹿市消防団	副 団 長	初 山 健
能代市消防団	分 団 長	飯 坂 保 博	湯沢市消防団	分 団 長	石 田 均
五城目町消防団	分 団 長	伊 藤 一 成	仙北市消防団	分 団 長	伊 藤 幸 二
井川町消防団	分 団 長	伊 藤 安 春	大仙市消防団	分 団 長	越後谷 哲 也
由利本荘市消防団	分 団 長	遠 藤 典 之	鹿角市消防団	分 団 長	大 森 誠 一
横手市消防団	分 団 長	奥 山 裕 之	八郎潟町消防団	分 団 長	小 野 成 松
秋田市消防団	分 団 長	郡 司 聡	美郷町消防団	分 団 長	煙 山 栄 司
鹿角市消防団	分 団 長	小 館 信 彦	潟上市消防団	分 団 長	小 松 偉 仁
にかほ市消防団	分 団 長	齊 藤 猛	横手市消防団	分 団 長	佐 藤 勲
由利本荘市消防団	分 団 長	佐 藤 浩 之	北秋田市消防団	分 団 長	簾 内 孝 則
横手市消防団	分 団 長	高 橋 栄 一	三種町消防団	分 団 長	田 村 浩 人
羽後町消防団	分 団 長	土 田 良 悦	横手市消防団	分 団 長	中 安 隆 孝
能代市消防団	分 団 長	畠 山 英 範	横手市消防団	分 団 長	藤 原 憲 一
北秋田市消防団	分 団 長	堀 部 仁 司	由利本荘市消防団	分 団 長	堀 嘉 哉
大館市消防団	分 団 長	本 間 光 仁	秋田市消防団	分 団 長	三 浦 敏 実
男鹿市消防団	分 団 長	目 黒 透	横手市消防団	分 団 長	山 崎 敦 行
鹿角市消防団	分 団 長	山 本 和 喜	由利本荘市消防団	分 団 長	吉 田 誠 一
男鹿市消防団	分 団 長	渡 部 智	由利本荘市消防団	副 分 団 長	石 崎 仁
大館市消防団	副 分 団 長	伊 藤 美喜雄	由利本荘市消防団	副 分 団 長	岡 本 善 広
藤里町消防団	副 分 団 長	加 藤 陽 一	大館市消防団	副 分 団 長	佐 藤 俊 昭
東成瀬村消防団	副 分 団 長	鈴 木 良 男	大潟村消防団	副 分 団 長	馬 場 晶 寛

秋 田 県 知 事 表 彰

◆無火災表彰 (2 町)

藤里町 井川町

日 本 消 防 協 会 長 表 彰

◆優良消防団 (表彰旗) (1 消防団)

八峰町消防団

◆優良消防団 (竿頭綬) (3 消防団)

小坂町消防団 潟上市消防団 羽後町消防団

◆功績章 (17 名)

小坂町消防団	分 団 長	秋 本 勇 美	北秋田市消防団	副 団 長	木 村 謙 一
上小阿仁村消防団	分 団 長	田 中 寿	能代市消防団	分 団 長	安 保 誠 喜
井川町消防団	副 団 長	二 田 一	大潟村消防団	団 長	三 浦 修
秋田市消防本部	消 防 監	佐 藤 和 則	秋田市消防本部	消 防 監	佐 藤 良 和
由利本荘市消防団	分 団 長	田 口 明 高	にかほ市消防団	分 団 長	佐々木 讓
大仙市消防団	副 団 長	高 橋 和 美	大仙市消防団	副 団 長	高 橋 昇
大仙市消防団	班 長	一 色 順 子	横手市消防団	副 団 長	佐 藤 清 市
横手市消防団	副 団 長	小 松 雅 樹	湯沢市消防団	分 団 長	高 山 一 夫
羽後町消防団	分 団 長	土 田 健 一			

◆精績章 (42 名)

鹿角市消防団	分 団 長	田 原 智 明	鹿角市消防団	分 団 長	中 村 実
鹿角市消防団	班 長	安 保 千 夏	大館市消防団	分 団 長	長谷部 良 英
大館市消防団	部 長	富 樫 正 人	北秋田市消防団	副 団 長	佐 藤 将 人
上小阿仁村消防団	副 分 団 長	石 上 敏	能代市消防団	分 団 長	飯 坂 保 博
能代市消防団	分 団 長	伊 藤 秀 司	能代市消防団	副 分 団 長	加 藤 武 幸
三種町消防団	副 団 長	田 森 正 志	男鹿市消防団	副 団 長	初 山 健
潟上市消防団	分 団 長	小 松 偉 仁	八郎潟町消防団	団 長	松 田 一 成
大潟村消防団	分 団 長	畑 瀬 正 道	秋田市消防本部	消防司令長	櫻 庭 金 裕
秋田市消防本部	消防司令長	杉 舘 涉	秋田市消防団	分 団 長	斎 藤 弘 美
秋田市消防団	分 団 長	齊 藤 安 孝	秋田市消防団	分 団 長	佐々木 健 一
秋田市消防団	部 長	木 村 綾 子	由利本荘市消防団	副 分 団 長	池 田 一 治
由利本荘市消防団	部 長	齋 藤 修 一	由利本荘市消防団	分 団 長	加 藤 司
由利本荘市消防団	分 団 長	鎌 田 敏	にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 浩 一
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	小木田 信 明	仙北市消防団	副 団 長	戸 村 純 厚
大仙市消防団	副 団 長	小 原 勝	仙北市消防団	分 団 長	伊 藤 幸 二
美郷町消防団	分 団 長	齋 藤 辰 美	横手市消防団	副 団 長	泉 昌 宏
横手市消防団	分 団 長	山 崎 敦 行	横手市消防団	分 団 長	石 山 秀 之
横手市消防団	分 団 長	石 橋 一 則	横手市消防団	分 団 長	佐々木 茂 一
横手市消防団	分 団 長	中 安 隆 孝	湯沢市消防団	分 団 長	高 橋 宗 男
湯沢市消防団	分 団 長	佐 藤 泰 久	湯沢市消防団	分 団 長	鈴 木 一
湯沢市消防団	分 団 長	伊 藤 文 雄	湯沢市消防団	副 分 団 長	高 橋 嘉 之

水防功労者国土交通大臣表彰 の表彰式が開催されました

1月28日(火)、国土交通省(東京都千代田区)において、令和6年度水防功労者国土交通大臣表彰式が行われ、7団体、16名の個人が受賞しました。

本県からは、昨年7月の豪雨時に、延べ610名が出動し、河川巡視や避難誘導、人命救助等を行った由利本荘市消防団が選ばれました。

この表彰は、水防管理者の管轄の下に水防に従事し、著しい功績があった団体及び個人を表彰する制度で、昭和26年より実施しています。



防災活動車が交付されました

日本消防協会から仙北市消防団に車両が交付され、御礼のメッセージが寄せられました。

2月19日(水)、(公財)日本消防協会より「消防団防災学習・災害活動車Ⅲ」の交付を受けました。

今後は、団本部車両として、平時は地域住民などに対する防災学習に使用し、有事の際は、緊急車両として団員の駆けつけや資機材運搬等の現場活動に使用します。

仙北市消防団では、団員数が年々減少しておりますが、交付車両を最大限活用し、加入促進に繋がるよう努めてまいります。



第48回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第48回消防職員意見発表秋田県大会が、2月7日(金)、ホテルメトロポリタン秋田で行われ、最優秀賞1名、優秀賞2名が選ばれました。

本稿では、最優秀賞に輝いた山形凌夏さんの意見を紹介します。

■最優秀賞

大曲仙北広域消防本部

消防士 山形 凌夏

■優秀賞

由利本荘市消防本部

消防副士長 佐藤 迅

能代山本広域消防本部

消防士 山崎 貴翔

心に寄り添っているか

大曲仙北広域消防本部

山形 凌夏

「人命を守りたい」
消防士である私たちの多くは、その強い使命感を心に抱いていると思います。

しかし、その使命を果たす過程で忘れてならないのが、傷病者やその家族の心に寄り添う姿勢です。なぜ、「心に寄り添う」ことが大切なのか。私には苦い経験があるのです。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、多くの尊い命が失われ

ました。当時、小学3年生だった私は、経験したことのない揺れに大きな不安を感じたのを今でも覚えています。

それから5年後、中学3年生になり、校外学習で、被災した宮城県気仙沼市を訪れる機会に恵まれました。そこで私は、震災で妻と家を失い、仮設住宅での変わり果てた生活に苦悶していた一人の男性に出会いました。

活動の一環で、「復興にかける思い」と題したメッセージを集める事になった際、私は災害から立ち直るきっかけになればと思い、努めて明るい表情で尋ねました。

「今後の夢や目標はありますか。」
すると、彼はしばらく沈黙し、

「あのね、今はそれどころじゃないんだよ。」

と一瞬で厳しい目に変わり、こわばった表情のまま背を向けて行ってしまったのです。

その瞬間、自分の一言が、絶望の日々を生きている男性の気持ちを逆撫でしてしまったことに気づき、強く後悔しました。今の彼は、日々の暮らしを乗り切ることで精一杯だったのです。

消防士として活動する今も、私はこの苦い教訓を忘れることなく、常に傷病者やその家族の「心に寄り添う」ことを胸に刻み活動しています。

ある日、私は、心肺停止状態の男性を搬送するために出勤しました。現場へ到着するとかなり動揺した様子の女性が涙を浮かべ、

「父をどうか助けてください！」と我々を案内しました。

男性は意識がなく、電極パッドを貼るために触れた身体は少し冷たく、「時間が経っている、厳しいかもしれない。」隊長の表情も私の思いと同じように見えました。

搬送中、私は同乗する娘さんの隣に立ち、心臓マッサージを続けながら彼女の不安が少しでも和らぐようにと、あえて何度も声をかけ続けました。

「お父さん、娘さんも一緒に乗っているからね！頑張るよ、もうすぐ病院だよ！」

私が押している胸の真ん中だけは温かいものの、それ以外は更に冷たくなっていく身体。娘さんの顔を見る勇氣はありませんでした。

病院へ到着して間もなく、医師は娘さんに残念な事実を告げ、彼女は声もなくしゃがみ込み、両手で顔を覆いました。

全力を尽くしても、報われない現場は少なくありません。そんな我々に最後に声をかけてくれたのは、その娘さんの方でした。

「先ほどは、父に何度も声をかけてくださって、諦めないでくれて嬉し

かったです。ありがとうございました。」

男性の命を救うことはできませんでしたが、私の思いや言葉は、娘さんの心を支えることができたかもしれません。

傷病者とその家族は、病気や怪我による痛みだけでなく、目の前に迫る将来の不安とも向き合っていることを私は知っています

これからも、命を救うだけでなく、その周りの人の気持ちにも、温かく寄り添っていける消防士でありたい。あのときの苦い経験が、今も私に厳しく問いかけてきているから。



意見発表のテーマと発表者名

- | | | |
|----------------------|------------------|--------|
| (1) 記憶を埋める一枚 | 秋田市消防本部 | 遠藤 敏 希 |
| (2) コール119の見直し | にかほ市消防本部 | 池田 享 平 |
| (3) 最近の若者は～ | 大館市消防本部 | 奈良 大 耶 |
| (4) 一秒でも早くAEDを | 由利本荘市消防本部 | 佐藤 迅 |
| (5) 胸骨圧迫心臓マッサージを全世帯に | 北秋田市消防本部 | 山岡 陽 平 |
| (6) 田んぼにポンプ | 鹿角広域行政組合消防本部 | 吉田 ひかり |
| (7) 心に寄り添っているか | 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 | 山形 凌 夏 |
| (8) あなたを救う、情報のボタン | 湖東地区消防本部 | 武田 寛 晃 |
| (9) ドローンと共に | 横手市消防本部 | 照井 大 瑛 |
| (10) 僕の決意～交差する思い～ | 湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部 | 遠田 亘 |
| (11) 応急手当が根付いた街へ | 五城目町消防本部 | 小野 航 大 |
| (12) 私達だから見えること | 男鹿地区消防本部 | 安田 夏 葵 |
| (13) あなたも一緒に | 能代山本広域市町村圏組合消防本部 | 山崎 貴 翔 |



山形 凌 夏 さん(最優秀賞)



山崎 貴 翔 さん(優秀賞)



佐藤 迅 さん(優秀賞)

「消防団加入促進モデル事業」を実施します

消防団員の減少や高齢化に伴い地域防災力の低下が危惧されるなか、団員の加入促進につなげるため、県は、消防団加入促進モデル事業を実施しています。

令和7年度は、広報の強化に力点を置き、次の事業を行います。

①市町村が実施する消防団活動のPRに対する支援

消防団活動体験型イベントや市町村が新たに取り組むPR活動を対象とする。

②若手及び女性消防団員によるPR活動

秋田魁新報社と日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部が中心となつて開催する「あきた防災キャンパスフェス」にブースを設け、団員の加入促進に繋がるPRを行う。

③県による消防団活動のPR

県が製作する消防団PR動画を映画館で上映し、消防団活動を広く周知するほか、消防団応援の店の登録を促進する。

①は、実施する市町村に対して県が補助金を交付します。

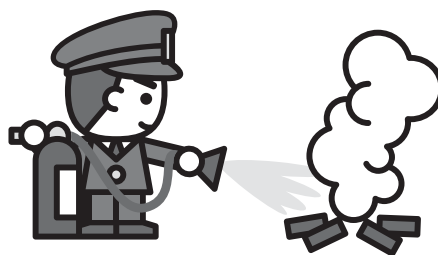
②は、昨年に続き、若手や女性消防団員がスタッフとなつて、9月に行います。

◆ 消防団員研修 ◆

秋田県消防学校

消防団名	階 級	氏 名
北 秋 田 市	団 員	藤 本 勝 繁
北 秋 田 市	団 員	武 石 直 樹
上小阿仁村	団 員	小 林 剛
男 鹿 市	団 員	西 村 遊 星
秋 田 市	団 員	徳 光 健 治
秋 田 市	団 員	堀 野 利 人
秋 田 市	団 員	安 藤 幸 雅
秋 田 市	団 員	早 川 至
仙 北 市	団 員	藤 枝 諒 平
仙 北 市	団 員	藤 井 聖 弥
横 手 市	団 員	高 橋 秀 徳
湯 沢 市	団 員	遠 藤 裕 平

第69期基礎教育	
教育期間	令和7年3月8日(土)～3月9日(日)
入校者数	12人(7消防団)
対 象 者	入団して概ね3年未満の消防団員
集合写真	



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

株式会社 高 義 商 会

(営 業 種 目) { トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消 火 器 各 種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯 沢 市 田 町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 タ カ ギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営 業 種 目)

日本機械自動車ポンプ | 消防設備保守点検
トーハツポンプ | キンパイホース
各種消防機械器具 | 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第7期幹部教育指揮幹部科現場指揮課程				第10期幹部教育指揮幹部科分団指揮課程		
令和7年3月15日(土)～3月16日(日)			教育期間	令和7年3月1日(土)～3月2日(日)		
24人(11消防団)			入校者数	31人(13消防団)		
部長又は部長と同等の実務経験を有する者			対 象 者	分団長、副分団長の階級にある者		
			集合写真			
消防団名	階 級	氏 名	入 校 者 名 簿	消防団名	階 級	氏 名
鹿 角 市	部 長	岩 城 淳 一		鹿 角 市	副分団長	阿 部 卓 也
北 秋 田 市	部 長	三 浦 良 信		大 館 市	分 団 長	浅 利 勝 英
上小阿仁村	班 長	武 石 孝 夫		上小阿仁村	分 団 長	田 中 寿
秋 田 市	部 長	小 川 洋 平		能 代 市	副分団長	池 端 淳
秋 田 市	班 長	高 橋 存 哉		三 種 町	分 団 長	近 藤 竜太郎
秋 田 市	班 長	佐 藤 未 佳		秋 田 市	部 長	熊 井 公 成
秋 田 市	部 長	加 藤 光 昭		秋 田 市	分 団 長	幸野谷 徳
秋 田 市	部 長	今 川 幸 也		秋 田 市	班 長	川 口 雅 丈
由利本荘市	部 長	小 林 正 義		秋 田 市	分 団 長	高 橋 一
由利本荘市	班 長	木 村 秀 紀		秋 田 市	副分団長	齊 藤 一 夫
由利本荘市	部 長	眞 田 和 幸		由利本荘市	副分団長	加 川 正 人
由利本荘市	班 長	小 松 則 夫		由利本荘市	部長(分団長級)	卯 野 清 彦
由利本荘市	部 長	村 上 清 隆		にかほ市	副分団長	吉 川 誠 治
にかほ市	部 長	竹 島 和 矩		にかほ市	副分団長	土 門 修
にかほ市	部 長	齋 藤 清 克		にかほ市	副分団長	佐々木 光
にかほ市	部 長	大 場 浩		にかほ市	副分団長	佐 藤 央 章
大 仙 市	副分団長	斎 藤 正 勝		大 仙 市	分 団 長	斎 藤 廣
仙 北 市	部 長	仙 波 覚		仙 北 市	副分団長	高 橋 孝 行
横 手 市	班 長	高 瀬 健 一		仙 北 市	分 団 長	中 村 和 好
湯 沢 市	部 長	佐 藤 重 之		仙 北 市	分 団 長	藤 枝 誠
湯 沢 市	班 長	柴 田 幸 信		横 手 市	分 団 長	伊 藤 竹 清
湯 沢 市	部 長	黒 澤 寛		横 手 市	副分団長	佐々木 淳
湯 沢 市	班 長	小 南 友 樹		横 手 市	副分団長	後 藤 展 史
東成瀬村	部 長	滝 沢 睦 夫		横 手 市	分 団 長	奥 山 裕 之
				横 手 市	分 団 長	高 階 勝 大
				横 手 市	副分団長	益 子 雄 光
				湯 沢 市	分 団 長	高 橋 浩 昭
				湯 沢 市	副分団長	齊 藤 秋 彦
				湯 沢 市	副分団長	金 子 春 喜
				湯 沢 市	副分団長	高 橋 昇
				東成瀬村	副分団長	佐々木 和 仁

支部情報アラカルト

第62回なまはげ柴灯まつり

における警戒を実施

2月7日～9日の3日間、男鹿市北浦真山神社を会場に第62回なまはげ柴灯まつりが開催され、男鹿市消防団から3日間で延べ31名の団員が火気警戒にあたりました。

なまはげ柴灯まつりは、みちのく五大雪まつりの一つに数えられ、真山神社で1月3日に行われる神事「柴灯祭さいとうさい」と伝統行事「なまはげ」を組み合わせた観光行事で、昭和39年から続く祭りです。



今年は県内外、国外から3日間で約4800人の観光客が訪れ、雪山の闇の中から松明をかざして下山してくるなまはげの勇壮で幻想的な姿に魅了されていました。

会場である真山神社の広場中央では柴灯火が焚かれ、なまはげが松明をもって下山してくることもあり、毎年消防団による火気警戒が行われます。また、祭り期間中には、男鹿市船川にある「道の駅オガレ」になまはげ柴灯まつりサテライト会場が開かれ、花火の打ち上げが行われるため、そこでも消防団による火気警戒を実施しております。

これからも地域に密着しながら安全に努めていきたいと思っております。



火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課消防保安室調べ)

	令和7年		令和6年			同期比較	
	3月	累計	3月	累計	年計	3月	累計
建 物	27	55	17	48	175	10	7
林 野	0	0	3	3	35	- 3	- 3
車 輛	1	8	2	7	31	- 1	1
その他	4	4	8	12	107	- 4	- 8
合 計	32	67	30	70	348	2	- 3
死者数	3	5	6	9	29	- 3	- 4
負傷者数	5	18	7	20	73	- 2	- 2



(情報提供) 男鹿潟上南秋支部

モリタ消防ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

シバウラポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社

能代消防センター
協 立

株式会社

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57

TEL (0185) (52) 6494

(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
防 災 事 業 部

〒010-0962 秋田市八橋大畑一丁目1番32号
TEL 018(863)1551 FAX 018(853)6311